

通し番号	記入不要
------	------

分類番号	29-67-21-18
------	-------------

酒粕発酵物の繁殖母豚及び離乳子豚への給与による影響	
<p>[要約] 酒粕発酵物が有するとされる機能性のうち、腸内環境改善効果に期待して繁殖母豚及び離乳子豚に給与し、繁殖成績や子豚の発育に効果が得られるかを検討した。繁殖母豚に対し分娩前2週間から分娩後子豚離乳時まで給与したところ、子豚発育成績に差は認められなかった。また、離乳後の子豚に対し、離乳時から8週齢まで給与したところ、酒粕発酵物の給与による発育向上効果は認められない。</p>	
畜産技術センター・企画指導部・企画研究課	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

酒粕発酵物の母豚及び離乳子豚への給与による影響を検討する。

[成果の内容・特徴]

- 1 ランドレース種の繁殖雌豚に対して分娩前2週間から子豚4週齢離乳時までの間、慣行配合飼料に加えて酒粕発酵物（原物）を5%添加給与し、直腸便 pH、産子数、ほ乳開始頭数、離乳頭数、育成率、子豚平均体重、発情回帰日数を調査した。
- 2 1の試験について、給与終了時の直腸便の pH が、5%水準で試験区が対照区に比べ有意に低かったが、他の調査項目は試験区間の差はなく、また直腸便 pH の結果と他の調査項目との関連は認められなかった（表1）。
- 3 ランドレース種の離乳子豚に対し、離乳時から8週齢時までの間、慣行配合飼料に加えて酒粕発酵物（原物）を5%添加給与し、増体重及び直腸便 pH を調査した。
- 4 3の試験について、給与終了時の直腸便 pH が5%水準で試験区が対照区に比べ有意に高かったが、他の調査項目との差はなく、また直腸便 pH の結果と他の調査項目との関連は認められなかった（表2、3）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 特になし

[具体的データ]

表1 分娩時状況及び産子発育状況、体温及び糞便pHの推移

試験区分	母豚No.	産次	産子数		育成率%	離乳後種付日数	平均体重kg		糞便pH			
			正常産子数	離乳頭数			生時	3週齢	給与前	給与1週目	給与3週目	終了時
対照区	15 242	3	11	11	100.0	8	1.2	6.6	7.03	7.21	7.51	7.32
対照区	14 1009	4	11	8	72.7	5	0.9	5.7	7.46	7.39	7.29	7.35
対照区	13 917	5	11	7	63.6	21	0.6	3.7	7.30	6.98	6.83	7.66
対照区	14 1076	3	7	7	100.0	18	1.8	8.1	7.71	7.81	7.55	7.44
対照区	平均	3.8	10.0	8.3	82.5	13.0	1.1	6.0	7.37	7.34	7.30	7.44
酒粕区	15 538	3	7	6	85.7	死亡	1.5	5.1				
酒粕区	14 724	4	5	4	80.0	43	0.8	5.9	7.26	7.12	7.19	7.01
酒粕区	14 121	5	4	4	100.0	廃用	1.9	7.9	6.62	6.81	7.05	7.12
酒粕区	15 348	2	5	5	100.0	18	1.9	7.2	7.77	7.49	7.08	7.29
酒粕区	平均	3.5	5.3	4.8	90.5	30.5	1.5	6.5	7.21	7.14	7.10	7.14*

* : 対照区と比較して有意差あり (P<0.05)

表2 子豚発育状況

試験区分 及び頭数		給与期間中発育状況(4週齢離乳～8週齢)					期間中	1頭当たり DG kg
		給与開始時	1週目	2週目	3週目	4週目		
対照区	総体重 kg	149.8	181.9	231.5	285.0	337.2	187.4	0.39
	飼料消費量 kg		65.5	113.5	122.5	134.1	435.7	
	飼料要求率		2.0	2.3	2.3	2.6	2.3	
酒粕区	総体重 kg	154.6	187.5	241.0	298.1	360.6	206.0	0.43
	飼料消費量 kg		59.0	119.6	137.6	150.6	466.8	
	飼料要求率		1.8	2.2	2.4	2.4	2.3	

表3 子豚糞中pHの推移

	給与開始時		糞中pH			
			2週目		4週目(終了時)	
対照区(14頭)	6.88 ±	0.46	6.47 ±	0.42	6.22 ±	0.50
酒粕区(14頭)	6.96 ±	0.50	6.50 ±	0.39	6.57* ±	0.29

* :対照区と比較して有意差あり (P<0.05)

- [資料名] 平成29年度試験研究成績書
- [研究課題名] 地域資源を活用した豚肉の生産方法の検討
- [研究内容名] 地域資源を利用した飼料が豚に与える影響の調査
- [研究期間] 平成29年度
- [研究者担当名] 白石葉子、前田高弘